

手作りの赤白帽子



先日、校長室で、とても心が温くなる出来事がありました。
校長室のマスコットキャラクター「かめお」のために、赤白帽子を
折り紙で作って届けてくれた子がいたのです。
(「ぜっこうちょう! かめお」の紹介は、いずれ詳しくいたします)

「運動会だから!!」
そう言いながら差し出してくれた小さな帽子には、連休中に一生
懸命つくったことが伝わる、やさしさと工夫が詰まっていました。

そこで、今回はその子の想いや運動会への向けて思考を巡らせて
みました。



カメといえば『浦島太郎』の他には、『うさぎとかめ』が代表的でしょうか。(「かめお」は、ウミガメですが…)油断したウサギと、地道に一步ずつ前に進んだカメ。これは、イソップ寓話のお話です。足の速さを過信して油断したウサギ。一方で、遅くても歩みを止めず、自分のペースで進み続けたカメ。「地道な努力は、やがて力になる」ということを、今も私たちに静かに語りかけてくれているように思います。

学校では、運動会へ向けた練習が始まっています。

もちろん、運動会はスピードや得点を競い合う種目がほとんどです。全力で走ること、仲間と勝利を目指すことは、運動会の大きな魅力です。しかし、本当に大切なのは、勝敗だけではありません。何度も練習を重ねること。うまくいかなくても挑戦を続けること。友達と声を掛け合いながら、一つのものをつくり上げること。その経験こそが、子供たちを大きく成長させていきます。

私自身中学校時代、陸上部に所属していました。毎日のように校庭を走り、苦しい練習を重ねていました。その時、顧問の先生がいつも口にしていた言葉があります。

「継続は力なり」

当時は、その意味を十分理解できていなかったように思います。しかし、大人になってから、その言葉の重みをさらに強く感じるようになりました。何をやってもうまくいかない日々。思うような結果が出ない日。遠回りをしているように感じる日。それでも歩みを止めず、地道に積み重ねた経験は、後になって、自分を支える力になります。すぐには結果につながらない挑戦も、その道中こそが、未来の自分をつくっていくのだと思います。



だからこそ、手作りの赤白帽子を届けてくれた子の姿が、私の心に深く残りました。
運動会で走ることだけが、運動会への参加ではありません。誰かを応援したい。みんな
で成功させたい。そんな思いを形にすることも、運動会を支える大切な力です。
折り紙でつくられた小さな赤白帽子には、きっと、「みんなでがんばろう」という気持ちが
込められていたのでしょう。

今、校長室では、「かめお」が静かに子供たちを見守っています。
うさぎのように速く走れることも素晴らしい。でも、かめのように、自分の歩幅で、一歩
一歩進み続けることも、同じくらい尊いことです。
仲間と励まし合いながら、自分らしく歩み続けること。それは、運動会だけではなく、こ
れからの人生にもつながる大切な力なのかもしれません。
今年の運動会でも、子供たち一人一人が自分の歩幅で前へ進み、仲間とともに最高
の一日をつくり上げてくれることを願っています。

前任の校長先生から引き継いだ、毎日子供たちが気軽に立ち寄れる校長室です。
だれでも Welcom !! いつでも Please come on !! の精神です。